

平成11年9月29日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報（気象編）第54号
－レーダー合成運用情報の新規配信について－

レーダー機器の点検等によりレーダーの運用を停止したとき、他のレーダーやアメダスでは降水が十分に捕捉できない場合があります。レーダーアメダス解析雨量や降水短時間予報等を利用して、的確な実況監視や予報を行うためには、レーダーの運用状況を把握することが大変重要になります。

これまで、これらの運用状況はレーダーエコー合成図（FAX図）の下欄にあるレーダー運用状況に表示していましたが、計算機処理等での利便性を図るため、下記のとおり新規に「レーダー合成運用情報」を配信することとしますのでご利用願います。

なお、長野・静岡レーダーの新設に伴い、レーダーエコー合成図のレーダー運用状況を、下記のとおり別添2から別添3に変更します。

記

1. レーダー合成運用情報の新規配信

- ①配信開始 平成11年10月20日03UTC観測分から
- ②配信時刻 毎時15分前後
- ③ヘッダー名 K C Y Y 6 0 R J T D（レーダーアメダス解析雨量）
K D Y Y 6 0 R J T D（降水短時間予報値）
- ④配信方法 気象業務支援センター（全国版）から配信
- ⑤電文フォーマット 別添1「レーダー合成運用情報解説資料」を参照

2. レーダーエコー合成図の運用状況の仕様変更

- ①変更日時 平成11年9月30日02UTC観測分から
- ②変更内容 別添2から別添3に変更

別添1

レーダー合成運用情報解説資料

レーダー合成運用情報解説

運用情報データ節の長さ 128byte

1. 解析雨量

byte	内 容	備 考
1～4	データ種別の記号：「PRR」（＝レーダーアメダス解析雨量）	ASCIIコード
5～8	対象時刻（日本時間） （1801年1月1日0時1分を1とした分単位の通し番号） ex：1999年9月1日0時0分→104487840	4バイト整数
9～16	レーダー運用状況（観測所順に2ビットずつ格納）	図1参照
17～128		

2. 降水短時間予報値

byte	内 容	備 考
1～4	データ種別の記号：「PRF」（＝降水短時間予報値）	ASCIIコード
5～8		
9～16	レーダー運用状況（観測所順に2ビットずつ格納）	図1参照
17～20	予想初期時刻（日本時間） （1801年1月1日0時1分を1とした分単位の通し番号） ex：1999年9月1日0時0分→104487840	4バイト整数
21～128		

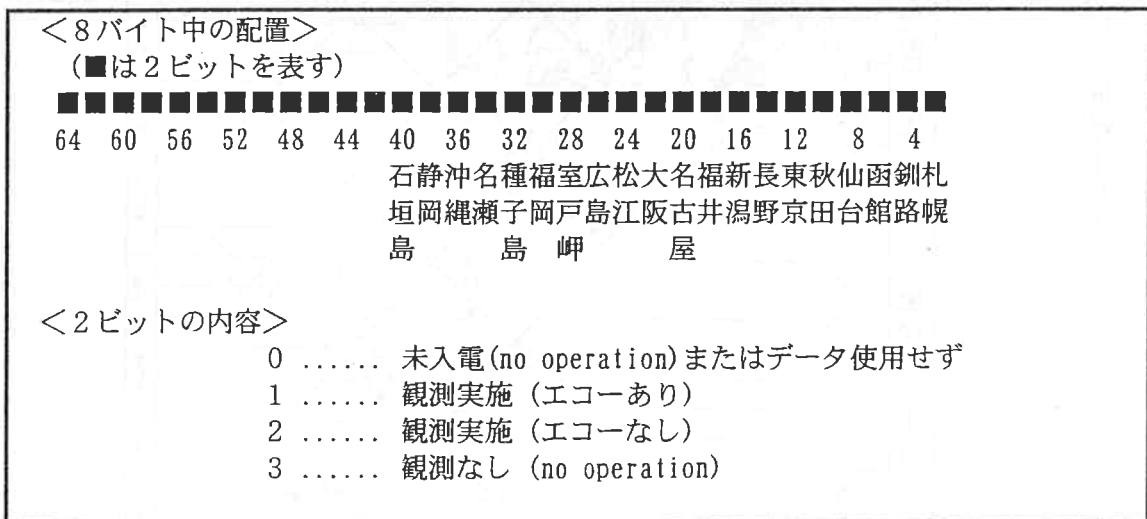
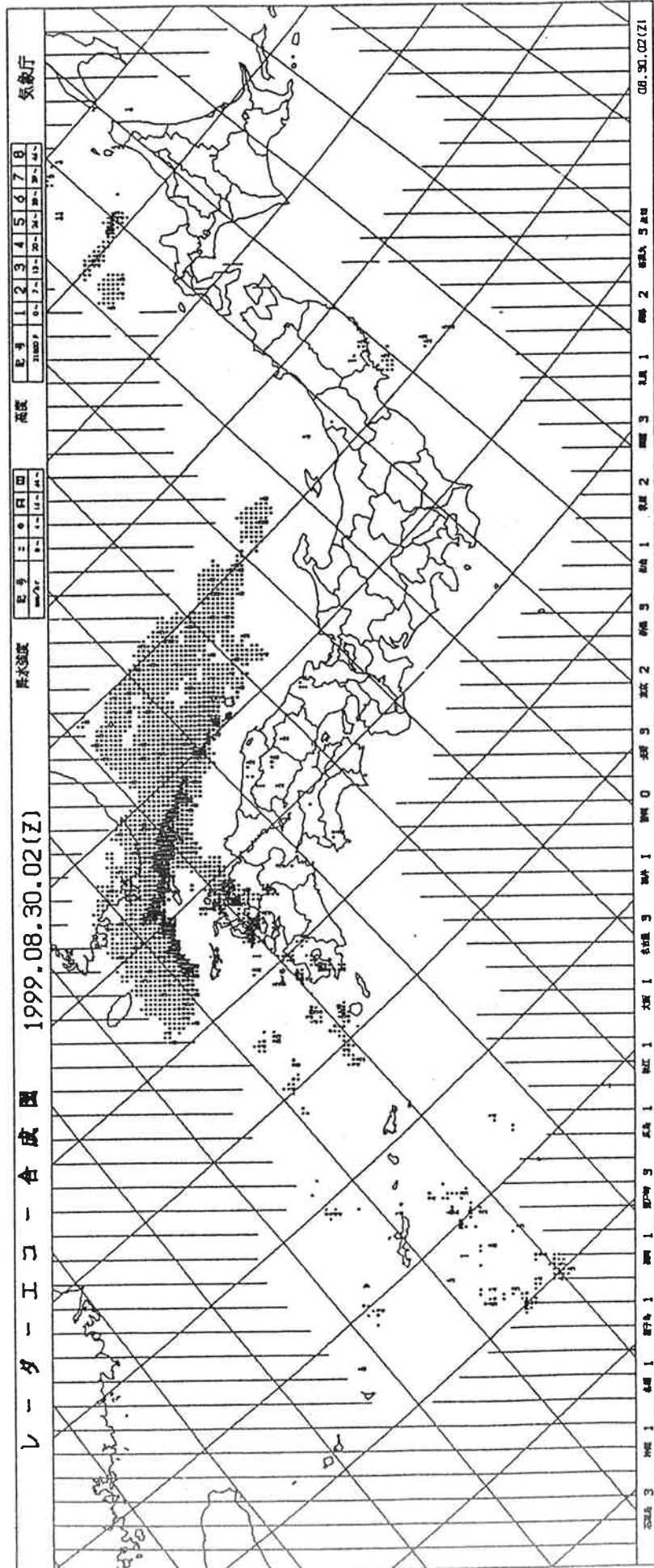


図1：レーダー運用状況の各レーダーサイトへの割り当て（9～16byte）

レーダーエコー合成図

(レーダー運用状況は新しく配信される様式)



↑
レーダー運用状況